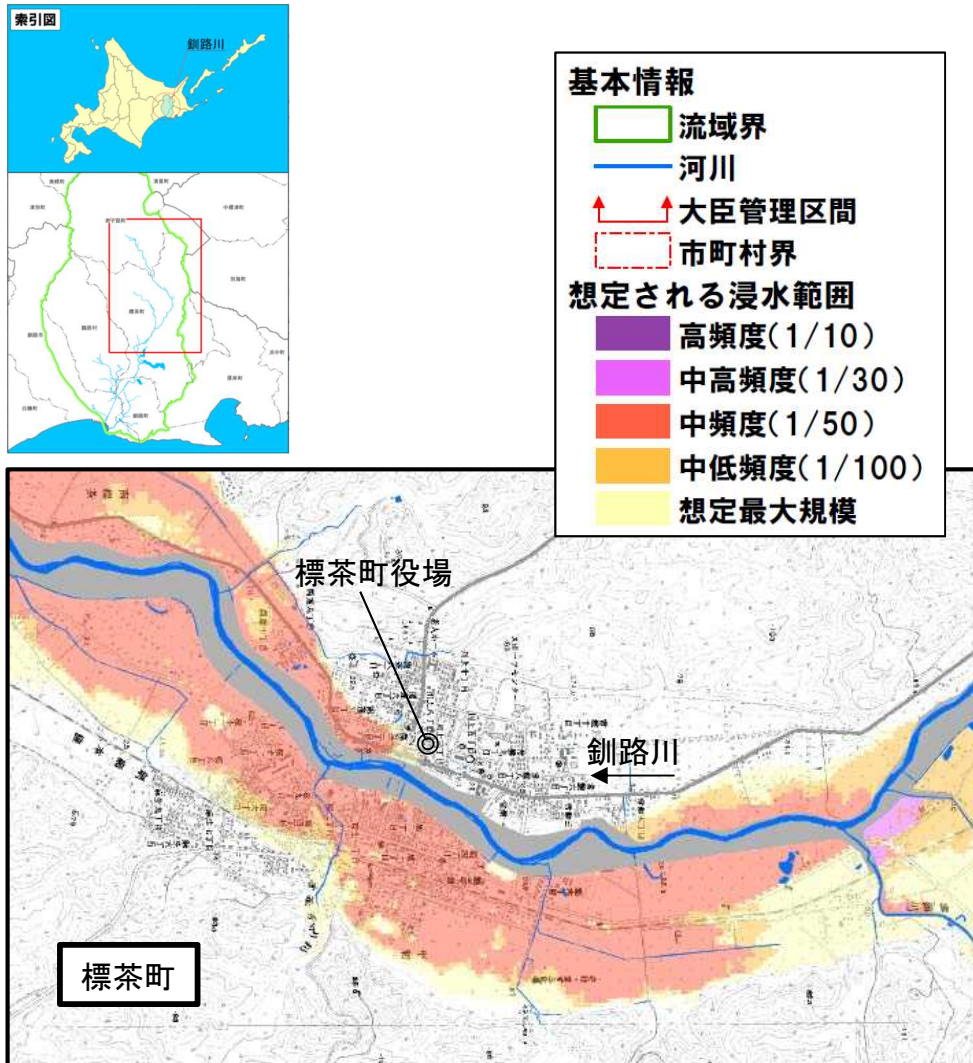


- 水災害リスク情報の更なるデータの充実と利活用(まちづくりや住まい方の工夫、将来の宅地開発や企業の立地選択等)の推進に向け、想定最大規模降雨のみならず**中高頻度の降雨**(30年に一度程度発生する降雨等)を想定した場合の水害リスク情報を重ね合わせ、**浸水の頻度を示した水害リスクマップ**の作成等を進めている。
- まちづくりとの連携や流域対策も含めた事業効果の見える化等、様々な活用が期待できる。

### 【水害リスクマップのイメージ】



### 【活用例(目的)】

- \*まちづくり  
→都市計画・立地適正化計画等(開発規制や居住誘導等)での活用、住まい方の工夫
- \*治水対策  
→流域対策も含めた事業効果の見える化
- \*水害保険  
→水害リスクに応じた保険料の設定
- \*避難行動  
→浸水頻度を踏まえた避難路等の設定
- \*企業BCP  
→浸水頻度、浸水深に応じた計画策定